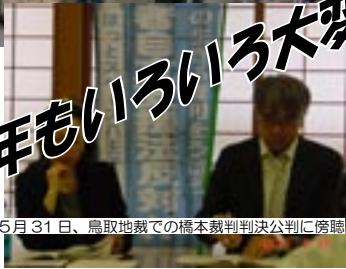




10月20日、広島高裁松江支部での橋本裁判傍聴



8月6日、8・6ヒロシマ原爆記念公園にて



5月31日、鳥取地裁での橋本裁判判決公判に傍聴



11月12日、富弘美術館を鑑賞

今年もいろいろ大変でしたが頑張りました

SSKS

The Heartful Place
ほっと
The Space Hachioji

「ほっとスペース八王子」ニュース

ほっと

2010年11月号

134号

定価 100円

発行所 郵便振替
E-mail 小糸(こい) A X
FAX 電話 編集人

八王子市八幡町一三一(ふくしまやビル二階)
「ほっとスペース八王子」(事務局・堀部正)
〇四二一六二八二二九
〇四二一六二〇一七六六
http://homepage2.nifty.com/hotspacel/
CXB01672@nifty.ne.jp
〇〇一八〇七二四六「ほっとスペース八王子」
世田谷区砧六一二六一二二 障害者団体定期刊行物協会

目次

特集：橋本容子さんの人権訴訟(控訴審)
「人として尊厳を取り戻す闘い」を支援する会通信 12号 転載記事

第一回口頭弁論/支援者集会報告 2頁

控訴人・橋本容子さんから 3頁

支援者集会 5頁

裁判支援を10倍楽しむ方法 6頁

「人としての尊厳を取り戻す闘い」を支援する会・呼びかけ人 8頁

橋本容子物語 9頁

橋本容子さんが裁判で獲得したいもの 10頁

橋本容子裁判研修レポート/橋本容子裁判について思うこと 11頁

精神保健福祉法は憲法違反だ! 12頁

橋本裁判 10月20日 13頁

精神医療はこうあって欲しい 14頁

私の医療保護入院 17頁

プログラム紹介 18頁

軍隊とは、国家とは/どうぞよろしくおねがいます 19頁

日々雑感

「学ぶこと」はまず自分を守ること、そして.../甲府城 20頁

特集：今年の秋レク第一弾

心地良い美術館で居眠り 20頁

星野富弘さん 21頁

公務員職場をあきらめました 21頁

【連載】随筆・育てられなかったあたし... 22頁

今後の予定/編集後記 24頁

【特集】

橋本容子さんの人権訴訟(控訴審)



広島高裁松江支部前で橋本容子さんを激励するためにセッケン姿で

【転載】

「人としての尊厳を取り戻す闘い」
を支援する会 通信 No.12

2010年11月号
発行日 2010/11/13

控訴審 第二回口頭弁論 期日：12月17日(金)午後3時30分から
広島高等裁判所松江支部にて来る12月17日、第二回口頭弁論が広島高等
裁判所松江支部にて行われます。

控訴審においては、これまでの地裁での弁論、証拠提示、陳述などの全てが土台となっており、その上で、高裁の裁判官により改めて判断がなされることとなります。さらに、橋本さんと大田原弁護士は、『精神保健福祉法33条は憲法違反』という新主張を展開していますから、高裁の裁判官はその点

においても判断を下さなければなりません。一般的に、高裁においては、地裁のように多くの弁論期日を重ねることはありません。もし、弁論期日回数が多くなれば、橋本さんに有利に展開することになると考えられます。

今までも申し上げてきていますが、傍聴人が多いほど、関心の高い事件であるという印象を裁判官に与えることとなります。第二回期日もできるだけ多くの方が傍聴に駆けつけて下さることを、どうか、よろしく願います。

第一回 口頭弁論

10月20日、広島高等裁判所松江支部において、ついに控訴審が始まりました。

鳥取県内からはもちろん、遠くは東京都八王子市から、多くの方々に傍聴に駆けつけていただいたことを心から感謝申し上げます。地裁の敗訴を受け、新たな「闘い」に踏み出した橋本さんに大きな力を与えるエネルギーになりました。

感謝申し上げます。

当日の弁論においては、控訴人、被控訴人から提出された、控訴理由書、準備書面といった書面の確認が主な中味でした。ただ、それ以上何もしなければ、ここまで提出された

は、ここまで提出された書面の陳述をもって、そのまま「弁論終結」ということも考えられる高裁です。ところが、医療センター側から、10月12日という弁論期日直前になって、控訴人の主張への反論の「第一準備書面」が提出されました。

それに対して大田原弁護士は、これに対する反論の骨子を記載した「第一準備書面」を、急ぎ10月19日に提出しました。今後、この

第一準備書面にさらに肉付けをする十分な証拠を伴った反論をし、又、当初予定していた控訴理由書の補充強化の「準備書面」も用意しているところでした。第一回弁論期日では、これで双方主張が出尽くしたと裁判官に思われて弁論終結を宣言されたいようにすることが目標でしたから、少なくとも、その目標は達成されたといえます。

支援者集会 報告

集会には橋本さん、大田原弁護士を含め、多くの支援者に参加していただきました。大田原弁護士より、第一回口頭弁論の中でのやり取りについて、具体的に説明がなされました。十分な弁論がなされないまま裁判が終結してしまう危険があること、そ



広島高裁松江支部の差別棄却判決を許さないぞ

【特集】

橋本容子さんの人権訴訟(控訴審)



いつも元気いっぱい裁判に臨む橋本容子さん

うすると、控訴人(橋本側)が新たに主張している、「精神保健福祉法33条は憲法違反」という問題がまともに争われないまま終わる可能性があることなど、専門的な解説と今後の予測される展開や方針についても語られました。

裁判の行方とは別に、精神障がい者がおかれている現状を考えたとき、いてもたってもいられないという怒りの感情が参加者みんなからあふれ出る集会でした。「精神保健福祉法33条」の「医療保護入院」は、精神障がい者に対して隔離・強制を

伴った「強制入院」であり、それも、たった一人の「精神保健指定医」の判断で決定されるというものです。本件の橋本さんの事例をみても明らかのように、「指定医」といってもその判断の基準は実にあいまいで、初対面の患者に5分ばかりの診察で「医療保護入院」を決定しているなど、実に恣意的、医師の気分しだいに制度が濫用されている実態があるのです。集会の参加者みんな確認したことは、いまだに多くの人に知られず存続し続けているこの前近代のかつ野蛮な法律・制度をもっと多くの人に知らせていこうということでした。

控訴人・橋本容子さんから

闘いは、ついに控訴審に突入しました。鳥取地裁では、地元鳥取市の方々を中心に、傍聴というかたちのご支援を厚く賜っておりましたが、今回から法廷が松江に移ったことで、どれだけ傍聴の方がお見えになるか、一抹の不安を抱えつつ松江に赴いた私は、高裁に到着して、まず、多くの方々が傍聴において下さっていることに、驚きと喜びを抑えきれず、感動すら覚えました。皆さま、本当にありがとうございます。次回以降も、引き続きのご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。皆さまの熱いお気持ちは、必ずや裁判官の心を動かすものと信じます。また、業務として傍聴に来ている医療センター職員とおぼしき人を介して、少なからず医療センターへも影響を与え、精神医療の世界を動かす力となるでしょう。実際、すでに本件訴訟が提起されて後、医療センターでは、厳密に、医療保護入院の際の

保護者の同意書を事前に徴するようになったと聞いています。

さて、代理人の大田原先生をはじめ、弁護士に加わってくださった弁護士の方々や、本件訴訟を支援してくださる皆さまは、

日頃から人権学習

を重ね、日常生活においては常に人権尊重を、また、実務においては人権擁護を実践しておられる、人権意識の高い方々であると、感じています。

そして言うまでもなく、私は、本件訴訟を提起したときから、これが人権闘争であると、自らの中に位置づけています。地裁の裁判官は人権の視点を判断の基準に入れなかつたけれど、あくまで、私が求めているのは、私、橋本容子の人としての尊厳の回復であり、即ち、基本的人権の保証です。訴訟の続き上、賠償金の請求として闘っていますが、実は、そんなことは私の眼中に無いことは、皆さまにはすでにお分かりだと思えます。

本件訴訟も控訴審の局面となったわけですが、ここで、今一度、「人権」と私、「人権」とこの訴訟について、触れさせていたいただきたいと思えます。

ちなみに、「人権」を広辞苑で引くと、「人間が人間として生まれながらに持っている権利。(後略)」とあります。

私は、30代の半ばで精神障がい者となりました



松江に向かう電車の中で思いを秘めて

【特集】

橋本容子さんの人権訴訟(控訴審)



橋本裁判の学習会もしっかりと行います

が、それ以前から『人権』には強い関心をよせてきました。もともとは結婚生活の実体験からフェミニズムを学ぶ機会を得たことで始まったのですが、薬害エイズ訴訟の行方に注目し、従軍慰安婦問題に心が痛み、ハンセン病問題に関心を持っていた矢先の原告勝訴に感激し、日常生活においては子供の小学校、中学校のPTA役員で同和教育にすんで携わるといった具合でした。そんな私が精神疾患を発症したのですから、精神医療のコーディネーターになった私の目に映ったもの

は、言語を絶する驚くべき人権侵害のオンパレード。精神病院は人権蹂躞の温床、巣窟とも云うべきものでした。

多くの社会的弱者やマイノリティが声も上げられず、偏見と差別にじっと堪え忍んでいるのをいいことに、なぜ、私たちの社会は、このような実態を放置するのでしょうか。特に精神障がい者に関しては、『パレンス・パトリイ思想』(国親思想) — 『精神障がい者は保護が必要な存在だから治療を強制するの』も保護にあたる』などという当事者からすれば暴論によって、多種多様な人権侵害が正当化されてきました。現在の『精神保健福祉法』は一九九五年から施行されていますが、その前身である『精神保健法』さらにその前身である『精神衛生法』古くは戦前の『精神監護法』にさかのぼって、この思想の誤った用いられ方は、全く変わっていないと云えます。

思えば、私は常に怒っていました。憤っていました。強いものは自分たちが痛みを感じないから、弱いものを顧みることなく無関心で、その無関心がさらに弱いものを追い詰めていることに、気付こうともしない。我々の社会には、精神障がい者に関する問題をはじめ、様々な、不合理かつ理不尽なことが存在するのになぜ、人々はそんなに平和な顔をして暮らしているのでしょうか。なぜ、怒らないのでしょうか。

『人権』に関心をよせるようになってから、確実にそれは私の中の価値観の座標軸となり、今や揺るぎないものとなっています。『人権』は人類普遍の価値であり、人が人であるかぎり、最も大切なものとして守るべきものです。そのためならば、生命

すら賭して闘う価値があると考えています。

あの事件によって、犬猫牛馬以下、虫けら同然、「ミミ同然のただの「もの」として扱われた私は、自分が「人間」ではないと思ひ知らされました。しかし、

私なぜ人間ではないのでしょうか。精神病患者だからでしょうか。治療可能性がないからでしょうか。私は承服できません！ 百歩譲ってこの橋本容子については承服したとしても、精神病は誰でもかかる病気です。ヒトが罹患する疾病の一種に過ぎないのです。人間だからこそかかる病気と云っていいくらいです。過去においても未来においても、この世の全ての精神病患者を人間扱いしないとすれば、絶対に承服できないのです。私自身が精神病患者となる前から、私の中に常にくすぶっていた憤りが、私を、この訴訟に駆り立て、今こうして、かつて誰ひとりやらなかったことを、我が身を一切顧みず、健康も、お金も、家族も、全て犠牲にしてやっているその原動力となっているのだと思います。

私の身に起きたあの事件は、確かに辛く悲しい体験ではありましたが、今思えば、この闘いに身を投ずるべく、天が私に用意していたことのようにも思ひます。はじめから運命づけられていたことのようにも思ひます。おがましいですが、私は、この訴訟のみならず、訴訟の結果が出た後も続くであろう

障害福祉課の課長はじめ4名の課員の前で橋本裁判のプレゼン



【特集】

橋本容子さんの人権訴訟(控訴審)



橋本裁判法廷の案内板

人権の闘いに、一身を捧げる覚悟です。病気によって、また誤った治療によって何もかも失い、さらにあの事件によって、人間であることすら剥奪された私には、もう何も失うものはありません。だから、怖いものなどないのです。

そんな私に、唯一与えられた役割がこれならば、生涯賭けて全うしよう、使命感すら持って、この訴訟に臨んでいます。

『人権』は、「人間が人間として生まれながらに持っている権利」なのですから人を人たらしめているもの

とも云えます。全ての人は人として生まれ、人として生き、人として死ぬべきです。ある種の特性を持つた人を特定して、例外として扱うことは、人として許されることではないと考えます。そのような法や制度を国家が作り運用することも許されないはず

この度の控訴審から、新たに『精神保健福祉法33条は憲法違反』と主張できたことは、実は、私にとって、望外の喜びなのです。もっとも、そのことは、地裁での我々の弁論、証言、尋問をもつても、あのような判決を書かれてしまったことから発したことではありますが、ここまで踏み込んだ主張ができたこと、はっきりと憲法違反を司法に問えたことは、ただ主張できただけでも、身体の奥からふつふつと、嬉しさが湧いてくるのを禁じ得ないのです。しかし、この主張が最高裁までいって認められるという事は、橋本が千人、大田原氏が百人束になっ

てかかっても相当に困難だということはわかっています。それでも、私たちは勝つ気で臨みます！我が国において全ての人が人としてあるために。私たちの切なる願いと想いをご理解いただき、どうか、私たちにお力添えをいただけますよう、皆さまに心よりお願い申し上げます。尚、『人権』については、「価値相対主義であり、利益相反は常に起こりうるジレンマ」についても言及したかったのですが、紙面の関係で、次の機会を待ちます。

支援者集会

予定第二回口頭弁論終了後、傍聴に集まっ

ていただいた皆さまと一緒に、大田原弁護士を囲んで集会を持ちます。第二回の弁論の内容解説をいらくと共に、今後の闘いについても、皆さまと一緒にご意見ご質問等をいただきながら、討議を重ねたいと考えております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

場所：当日、裁判所にてお知らせします

時間：法廷終了後、午後4時～(1～2時間程度を予定しております)

その後いただいたカンパのお礼

前回報告(通信9号)以降、以下の方にカンパをいただいております。ここに掲載してお礼を申し上げます。ありがとうございます。(敬称略)

ほっとスペース八王子有志 8500円

林由季 25000円(切手)

お知らせ

○雑誌『部落解放』二〇一〇年12月号(11月中旬発売)に、大田原弁護士の原稿が掲載されます。橋本容子さんに対する精神科医療の現場での人権侵害事件の概要、鳥取地裁判決の問題点、今後の裁判の課題などについて述べられています。ご一読ください



橋本裁判に勝利するぞ！

【特集】

橋本容子さんの人権訴訟(控訴審)



共同代表の黒川さんも勝利にピースサイン

い。

○『全国「精神病」者集団』公式サイトにおいて、橋本容子さんの裁判情報を随時アップしていただいております。http://www.ingmd.org/

○『ほっとスペース八王子』公式サイトにおいて、橋本容子さんの裁判情報を随時アップしていただいております。http://homepage2.nifty.com/hotspace/

○今年の「障害と人権全国弁護士ネット」例会が、鳥取市で開催されます。

『障害と人権全国弁護士ネット鳥取例会』

テーマ：障害者制度改革推進会議の議論状況とその検討

障害者権利条約と精神障害

日時：11月20日(土) 午後1時

時30分〜6時

・21日(日)午前

場所：とりぎん文化会館 1階第1会議室

20日は一般参加となりますので、多く方にご参加いただきたいと思います。支援する会呼びかけ人の内田博文氏、山本真理氏、事件弁護団の池原毅和氏も、シンポジストとして参加されます。21日は、橋本さんの裁判が大田原弁護士より事例報告されます。

■裁判支援を10倍楽しむ方法

■法律ビギナーさんのための裁判講座

第2回 監修 弁護士 大田原俊輔

今回は、控訴審についての解説を中心に、本件訴訟に即してすすめていきます。

Q1 鳥取地裁は橋本さん敗訴判決という結果でした。これに控訴したのは橋本さん側からということですが、今回、被告側から高裁宛に何もしなかったのですか。判決と控訴の関係について、詳しく教えてください。

A 事件の勝ち負けを決める判決を「終局判決」と言います。終局判決は、通常、原告勝訴の「認容判決」と原告敗訴の「棄却判決」とに大きく別れます。(これ以外に裁判自体の基本的な要件がないという場合は「訴え却下判決」となるが、弁護士が代理人についている場合、そのあたりの検討は当然した上で訴えるので却下判決はごく少数)

この終局判決で負けた側は、法定の期間内(2週間)に上級の裁判所に上訴ができます

が、期間内にしないと判決が確定します。第1審が地裁の場合、地裁から高裁への上訴が

「控訴」、高裁から最高裁への上訴が「上告」と言われます。上告審で何らかの結論が出れば「差し戻し」とならない限り確定します。確定すると、再審事件として認めてもらえない限り、原則としてその判決の効力をその後は争えなくなります。

今回は、(こちら)(原告側)が負けたので、広島高裁松江支部に控訴したわけです。ですから、原告は「控訴人」と表記されます。ちなみに、一審で完全に勝った側は、結論部分には不服がまったくないことになるので控訴できません。今回、一審の地裁では被告側が結論部分で勝っていますので、被告側からの控訴はできないという関係となり、被告側は、高裁宛には何も訴えたいことはしていません。もっとも、こちらの控訴への対応はしているので、答弁書、準備書面という形では、被告側も、今度は「被控訴人」という立場でひきつづき裁判の当事者であるわけです。

Q2 「三審制」とい言葉を聞きますが、これは、民事と刑事では違うのでしょうか。

A 基本的には民事でも刑事でも同じようなもので、地方裁判所、次に高等裁判所、最後に最高裁判所と、3回争う機会が保障されているという意味で「三審制」と言われています。



みむちゃんも頑張るよ!

【特集】

橋本容子さんの人権訴訟(控訴審)



広島高裁松江支部正面入り口前で座り込んでいる「ほっとスペース八王子」の面々

(もともと、争いの金額が小さい民事事件は、簡易裁判所から始まるので、控訴審が地裁、上告審が高等裁判所となり、最高裁には持って行けません。)
ちなみに、三審制とは言いますが、最後の最高裁に持ち込めるハードルは、民事・刑事に関わらずとても高いです。(裁判自体が手続違反で違法という場合以外) 上告理由の内容面では、

憲法違反、最高裁の判例違反といった重大なものではない限り受け付けてくれません。

高裁の事実認定がおかしいからということでは上告できないのです。高裁までは「事実審」、最高裁は「法律審」という言い方をしますが、法律解釈の誤りについて正すということでは最高裁は門を開いてくれません。従って、実際は、最高裁で内容面での判断をもらうことは大変です。

なお、高裁で判断が分かれている法律解釈を統一してほしいというような場合、民事では、「上告」ではなく、「上告受理の申立」というのを使います。上告ではないが、上告扱いしてくださいという類型です。受理されると、上告審として審理してもらえます。民事事件では、上告は要件が難しいので、この上告受理申立の方が一般的です。

Q3 今回の控訴審から、憲法違反の新主張を展開しているということですが、「違憲訴訟」とは、その他の訴訟とどういったところが異なるのでしょうか。

A 基本的には、その他の訴訟と異なるところはありません。というよりも、普通の訴訟の中でしか憲法違反の主張ができません。なぜなら、日本には純粹に憲法に違反するということだけを裁判する制度がないからです。したがって、憲法違反の無効な法律や行政上の行為で損害を受けたなどの形で、通常の事件の理由付けの一つとして憲法違反ということを争うこととなります。

Q4 「違憲訴訟」というと、国を相手取って、というのをマスコミ報道等でよく耳にします。橋本さんの裁判ではそうでないのは、なぜですか。

A Q3 のとおり、「違憲訴訟」は普通の訴訟の

中で憲法判断が問題になるケースをすべて含みますので、①損害賠償請求「訴訟になるときもありません、②「差し止め請求」訴訟になるときもありまして、③「地位の確認」「訴訟」解雇無効とか(となるような場合もあります。このうち、



熱心に分かりやすく説明する大田原弁護士

国や地方自治体の違憲かつ違法な行為により損害を受けたという場合が、違憲訴訟としての国賠訴訟になります。その場合に使う法律は、民法の不法行為と国家賠償法の組み合わせということになります。今回の橋本さんの事件は、国や地方自治体を訴えているものではないので、「国賠訴訟」とはなりません。**Q5** それならば、今から高裁で相手方に国を追加して、国の責任を追求することはできないのですか。

A 訴えの内容を訴訟提起後に変えることを「訴えの変更」といいますが、訴えの途中から被告や被控訴人などの相手方を追加するという形の変更は、民事訴訟法の解釈で認められていません。これは、自分がやっていない裁判に途中から巻き込まれること、巻き込まれた側の三審制が保障されないことになるからです。そのため、橋本さんの事件でも途中から国を相手方として追加できません。ただ

【特集】

橋本容子さんの人権訴訟(控訴審)



公判後の交流会

し、相手方が同じである限り、基本的な事実関係が変わらないならば、請求額を増額したりする形での追加(「請求の拡張」という)は可能です。

ちなみに今回の違憲主張の追加は、不法行為となる理由を追加しただけです。単なる追加主張というだけとなり「訴えの変更」ではありません。これが不法行為による損害賠償以外にさらに別の損害賠償請求権(事件ならば、医療行為は患者と医療者の契約であるから債務不履行による損害賠償)の追加ということになると、訴えの変更という見方がで

きる余地が生じ、そうなる請求の拡張もできる余地が生じるということになります。ただし、民事訴訟の判断対象の範囲を「訴訟物」(本件の場合は不法行為による損害賠償請求権)と言いますが、この訴訟物が同一である範囲内では、訴えの変更とは言わないことになっていきます。ですから本件は、憲法違反を理由として被告の原告に対して行ったことは不法行為だと追加主張していますが訴訟物は同一ということで、賠償請求額は一番の三〇〇万円のまま、というわけです。【】



交流会の会場となったとても素敵な喫茶店

(この訴訟物を、①個別の権利と捉えるか、②権利の枠組みを超えたもう少し広い共通した事実関係を含むものと捉えるかについては、学説上、永年にわたる学者の間での論争があり、この件は、司法試験の受験生にもたいへん難しいので省略します。)(以上)

第2回講座、いかがだったでしょうか。さすがに憲法違反を主張する訴訟となると、法理的的にも議論が分かれる部分があったり、訴訟手続的にも細かなルールがあるということがわかりました。ちょっとむずかしかったですね。

次号第3回は、第2回の内容を受けて、皆さまからのご質問ご意見に、さらに噛み砕いたわかりやすい

い回答をいただく予定です。具体的なご質問などをどしどし支援する会あててお寄せ下さい。当コーナーにて、さらに本件に即した形で、解説いたします。

「人としての尊厳を取り戻す闘い」を支援する会・呼びかけ人

〔代表〕森島 吉美(広島修道大学 教授)
池内 まどか(社会福祉法人一条協会・高知県 事務局長)

岩田 啓靖(曹洞宗：大寧寺・山口県 住職)
内田 博文(神戸学院大学 法科大学院 教授)
宇都宮 富夫(八幡浜市議会 議員)
江嶋 修作(解放社会学研究所 所長)
大久保 陽一(いのちくらし)とも栄市民ネットワーク 代表)

金杉 恭子(広島修道大学 教授)
鐘ヶ江 晴彦(専修大学 教授)
川口 泰司(山口県人権啓発センター 事務局長)
佐々木 理信(浄土宗：真明寺・滋賀県 住職)
志村 哲郎(山口県立大学 教授)

露の 新治(落語家)
砥石 信(国連登録NPO 横浜国際人権センター・信州フロンチ代表)

富田 多恵子(びわこ南部地域部落解放研究会 副会長)
林力(福岡県人権研究所 顧問)

福岡 安則(埼玉大学 教授)
山崎 典子(浜田へっぴんの会 代表)
山本 真理(全国「精神病」者集団会員・世界精神医療ユーザーネットワーク理事)

【特集】

橋本容子さんの人権訴訟(控訴審)

若月好(精神障害者当事者
会「きまぐれの会」・鳥取県
民生児童主任)
田明志(長崎ウエブシヤン)

大学教授)

【連絡先】森島吉美 〒733-0874 広島市西区古江
西田20-18-507

橋本容子物語

りなこくす

Tel/Fax:082-273-3469
E-mail: orisima@orange.
oon.ne.jp

このものがたりは、実際の
大学教授が書いた手記を
ティーンからヤングでも読
みやすいように、編集者が
編集してみました。

ものがたりのはじめ:よ
う子さんは鳥取県に住んで
いる「双極性気分障害Ⅱ型
(そうきょくせいきぶんしょう)



一所懸命訴える橋本容子さん

うがい(かた)と
診断されている女性
です。なお、この
病気は、気分がハイ
になるそう状態より
も、うつになる状態
が多いタイプです。
(病名の解説につい
ては私の主治医から
聞いた話)



交流会場で優しく裁判の行方を解説する大田原弁護士

よう子さんは、
わたなべ先生がい
る、明和会わたな
べ病院にかかっ
ていました。一九九六年四月からかかり始め、
一九九七年一二月から、事件の起こった二〇〇
七年一月まで、10年半以上わたなべ先生にかかっ
ていました。わたなべ先生が、お薬をとっかえ
ひっかえ、よう子さんに処方しても、よう子さ
んの病気は全然よくなりません。病気が長
くなればなるほど、彼女は前が見えなくなり、

一人苦しみがき苦しむばかりです。特に、事件3年
前(二〇〇四年)あたりから、彼女の社会生活はお
ろか、日常生活もメチャメチャな状況に変化しまし
た。その状況下で彼女は強くイライラし、すごく興
奮して泣いていて……。

彼女は苦しかった。
お薬をたくさん飲んでしまった。
二〇〇七年一月三〇日の昼ごろのことだった。

翌日一月三十一日の朝。

よう子さんが救急車で運ばれたのは、明和会わた
なべ病院。病院から彼女の父親に連絡が行き、その
後父親が病院にきた。しかし、わたなべ病院の院長
に、「今日は診察しません。お帰りのください」と言
われた。

でもよう子さんは「薬の飲みすぎ」で、フラフラ
なのに……。

彼女は三〇日昼から三十一日夕方まで、記憶(きお
く)が全くなかった。

わたなべ医師は、結局よう子さんの「診察・治療」
をしなかった。

夕方、再びわたなべ医師
よう子さんは悔しかった。

……こんなわたし、身捨てないで!!
外来に残っていた看護師に思いを寄せた。

夕方、外来に看護師が居残っていた。

【特集】

橋本容子さんの人権訴訟(控訴審)



松江城前で決意を固める「ほっとスペース八王子」の面々

この日、よう子さんの診察なし。
いまだに、外来処置室に置き去りにされた。

・なぜ、いっぱい薬のんだ人は、お医者さんは診察しないの？

・こんな夜まで放っておくの？

・もうがまんできない！

やり場のない怒りに耐えかねて、よう子さんはタオルで、カーテンレールを使って首をつろうとした。

よう子さんは、看護師にタオルを取り上げられました。わたなべ病院は、首をつって抗議しようとする彼女を、厄介物扱いし、救急車で国立(こけりつ)病院へ転院させました。まるで、「ミ」を運びように。

国立病院にて。まつしま医師はよう子さんを診察しない。その代わりよう子さんに書類を渡す。よう子さんは「医療保護入院」を恐れた。書類を自分で破り捨てた。「懲役3カ月！」まつしま医師はこれを見て激怒した。(医師は、父親に「医療保護入院」についてなにも説明していない。)

さらに医師は「わしは精神保健指定医だ！」と言いつつ放す。

よう子さんは、はがいじめにされて、用意された保護室に入れられてしまう。

保護室で、彼女は薬を大量に飲まされ、注射を

打たれた。ス
タッフにひも
でベッドに縛
られた。

保護室に男
女2人の看護
師がやってき
た。

「看護師は男も女もいるのですから」と、女性看護師がつぶやいた。

・ま、まさか男性任せにおむつ替えにきたなー！！
・……(ういっ、ワイセツ！……)

ホント、忘れ難い屈辱……。

3年前のあたしは人間でなく「もの」でした。

橋本容子さんが裁判で獲得したいもの

樺太 健次

でも、今は暖かいみんなの声援を受けている。
閉廷後、裁判所近くの洋菓子屋で橋本容子さんを囲んで、会話を聞いた。その中で僕は橋本さんに質問した。「橋本さんは精神障害者の人権問題で起訴したんだろっつけど、具体的に何を獲得したいんですか。」

質問の理由だが今回と前回の法廷を思いだし、橋本さんや大田原弁護士の話聞きながら、橋本裁判の行方とか、それと日本の精神障害者解放運動の結び付き、更にそれらと僕の役割など色々考え巡ら

せて答えが出ないで頭が疲れてきた。その内にこの質問が閃いてぶつけてみた。洋菓子屋で答えを聞いた時は余りにも内容豊かで整理してイメージ出来なかったが、東京に帰ってきて録音を興じて考えていると、橋本さんは裁判を起すことで、偉大な人物になっている事が分かった。

起訴した経緯だが、橋本さんは精神医療によって人間でなくなったと云っている。彼女は物になるか、自分が人間として復活するのだったら戦うしかなかった。彼女は戦いを選んだ。戦う事で人との出会



「ほっとスペース八王子」の幟旗を高く掲げ

【特集】

橋本容子さんの人権訴訟(控訴審)



いがあった。異議申し立てをする精神病患者、大田原弁護士、異議申し立てをする部落民、批判的なインテリ達。この人達を仲間にしていった。獲得したいものは強制入院制度とその法的根拠へ(精神保健福祉法・医療観察法)の廃止。それを裁判で訴えることにより精神医療や精神病患者の実態を世に知らしめる。更に精神保健福祉法が憲法違反である事、などだ。

理化するのだ。それを橋本さんは退院してから抗議

橋本裁判闘争研修レポート

間宮 久子

した。これは偉大なことだ。僕も橋本さんと共に

動する意志を持つ。

橋本闘争は私の魂。

私は橋本さんの裁判を傍聴するのは、3回目。初めて橋本さんと口をききました。それはエシベーターの中。

「ドーして、ほっとはそんなにたくさん来るの?」私は答えた。「橋本さんのあの通信11号の悲痛な

叫びを私は、ほっておけないの...」

初めて別れ際に橋本さんと、ハグをした。ちっちゃな声で、「勝とうね」とつぶやいた...橋本さんは背中

橋本容子裁判について思うこと

みむぢちゃん

を一度ボンと叩いた。

本来、病気を治してもらってお世話になるはずのお医者さんや看護婦さんを訴えたというのはどういうことでしょうか。容子さんは男性看護師から四肢拘束、オムツをあてがわれ、基本的人権が損なわれたといえます。

治療が恥ずかしくて医師に見せられず、手遅れになる女性も多かったと聞いてます。

たといえます。

私は高校で、渡辺淳一先生の「花埋み」という本を習いました。荻野吟子さんは、夫

私も、入院中、ベッドの上で、ポータブルトイレでウンコをして男性の医師にお尻を拭かれて泣きました。でも、誰も訴える者もなかった。泣き寝入りというより割と平気でした。ホームヘルパーの講座をとったので、恥ずかしい話も少しは平気です。

から性病を移され、治療の恥ずかしさから、女医を志し、本当に女医になってしまった。日本初の女性医師の誕生です。これは、女性

が基本だと思えます。恥ずかしいと思うのが当たり前というのが、基本的人権というものだろうし、特に、排泄みだいなことは、幼稚園でも教わります。

が女性を診るということから生まれた、つまり、恥ずかしいという、ソコのところから、始まったのだと思えます。

病院や施設の人手不足が四肢拘束・オムツ装着の原因だろうし、厚生労働省も予算を増やすなどして、病院も考えてほしいです。



【特集】

橋本容子さんの人権訴訟(控訴審)



還暦過ぎても、まだまだ頑張るぞ!

ただ私として、患者の恥ずかしさより、シモの世話をする看護師の方が、イヤなのではないか。他人のウンコより、自分のウンコの方が、マシです。

精神保健福祉法は憲法違反だ!

―橋本裁判控訴審第一回公判―

堀部 正

あげられる人になってほしいと思います。

控訴審の傍聴は初めての体験。

感想としては控訴審段階では公判と言っても陳述はしなくても「弁論陳述は行ったことになる」などという話にびっくりました。

私自身、ヘルパー2級の資格を持ちながら、就労していません。シモの世話なんてイヤだし、夜勤なんてできない。入院中、流腸してくれた看護師さんに、感謝しています。

容子さんも、この活動を機に、何かを志し、具体的に飛躍してほしいです。できれば、人に介護して

それはさておき、控訴審で提起された論点で新規のものは精神保健福祉法第三十三条が違憲であるという主張です。精神保健福祉法第三十三条はいわゆる「医療保護入院」に関するもので、保護義務者による同意があれば、本人の同意がなくても強制的に医療という名のもとに刑法で言えば「逮捕、監禁罪」「傷害」に相当する行動制限や四肢拘束・オムツ装着、ロボトミーなどの精神外科手術、電気ショック療法などの治療が施されることになるのです。

橋本さんも第一回控訴審後の交流会で以下のように言われていました。

「今回の訴訟は精神医療が橋本容子をクズ扱い、モノ扱いされた時、モノ扱いされた自分は一旦は死のうと決意した。モノではなく人間として自分を取り戻すには闘うしかないと思ったからだ」

「闘うことで知り得なかった、経験し

得なかったたくさんのことを知りえたいし、経験させてもらったこと、そして今も現在進行形で学ばせてもらっている」

「強制入院制度を含む精神保健福祉法を廃止させるか、少なくとも精神病者のための法律に改正する、さらには



足腰が痛いので車椅子で駆けつけたんだよ

医療観察法を廃止するきっかけになって欲しい」「精神病者の実態を知らない多くの人に知ってもらえるきっかけになればと思う」

「どうとう私たち精神病者の苦しみを違憲訴訟として主張できたということがうれしい」

僕たち「精神病者」へのいままでの精神医療の在り方、精神福祉の在り方が違憲状態であるということとを訴え始めたのだということです。僕たち「精神病者」は現在もなお続いている「精神病者」の人権を無視した精神医療・福祉の在り方に泣き寝入りをするとしてきました。

しかし、ついに橋本容子さんがその現状を憂えて、精神医療・福祉の在り方が違憲ということを主張し始めたことは大きなことです。

この橋本容子さんの挑戦に僕たちは何としても応える必要があります。橋本容子さんだけでなく、また自分たちだけの問題でもなく、全国の「精神病者」の仲間のために。それはさらには「健常者」の人権の問題にもつながっているものだと思うのです。

【特集】

橋本容子さんの人権訴訟(控訴審)



広島高裁松江支部前でこぶしを振り上げる仲間たち

全国の仲間のみなさん！
医療保護入院の経験を持って
いる仲間のみなさん

橋本裁判10月20日

ゴンスケ

ん！
医療保護入院がどんなにひどい中身であるかを是非ともご意見をお寄せください。

10月20日15時30分にこの歴史的な裁判を傍聴するという「名誉」が、私に与えられた。

我々は2時間前にも鳥取地方裁判所に到着して、揃いのブルーのゼッケンで橋本容子さんと大田原弁護士を待っていた。その間に前回の裁判では、傍聴人席が定員・オーバーでギリギリだったので、心配をして裁判所

の受付係官に傍聴席に座れる人数を確認した。

確か、定員が48名との回答があった。裁判所のルールを良く分からないオイフは、裁判の始まる前に本当は入ってはならないハズの32号法廷を、この目で確認し、合議制の裁判長を始めとして、他の二人の裁判官の名前までをも確認した。いたるところに、建屋床にクラック(割れ目)のある鳥取地方だった。

先に定員を教えてくださいました裁判官の受付の方にこの裁判所は床のクラックを見ると相当な年月が経っている様子ですが、何年前の建屋なのかを聞いてみたところ、即座に回答が得られずに数分受付にて待たされた。40年以上も前の建屋と分かり、「裁判」という重要な事が行われているにも関わらず、血税はそこに、アマリ注がれないのが不思議に思われた。

デジタルカメラで写真を撮っていると受付の職員から撮影禁止なるご注意を受けてしまった。裁判所の中庭の立て看板に目をやると、禁止事項が書かれている。え？と思われる事まで、事細かく書かれている。日本の裁判所ってなんか、秘密主義？なのと思われる項目まであった。今時、ヘルメット着用して裁判所なんかに来ないよ。readingってやつよね。そう、readingのうちに大田原弁護士が乗る三菱ランサー・エボリユーシオン」が到着する。実はオイフもこのモデルを所有していた時期があった。

この手のクルマは相当なクルマ好きの乗る車で、知る人ぞ知るのクルマ。何せ、WRCというラリー仕様のベース車両なのだ。海外ではこの手のクルマには一千万円以上のプライス・タグがつく。この先生、オイフと同じで相当な「中年暴走族だな。」と率直な感想を持った。それと同時に共通の趣味を持つ仲間だなと思った。同乗していた橋本容子さんも、とてもお洒落なスーツ姿だった。エボリ(通称)という非日常的なクルマに乗る姿がとてもサマになっていた。



広島高裁松江支部の全景

さて、肝心の裁判。真中に裁判長、左に同年代の裁判官、右に若手の裁判官と確かに合議制で3人の裁判官がそこにはいた。48名の定員で25名程の傍聴人しかいなかった。プレス関係者も腕章をつけていなかった。後で知ったが1名のみと聞かされ愕然とした。

イカ二、精神障害者が抱える諸問題についての問題意識が、市民レベルで軽く扱われていると思わずにはいられなかった。「精神病」は明日は我が身なのに、一般健常者は悲しいかな、全くの無関心。裁判の内部は双方に今後に向けての書類(陳述用かな？・弁護用かな？)の期限が申し渡された。

前回同様に、とても事務的な語り口調だった。淡々とした言い方ともとれるし、冷たい言い方と

【特集】

橋本容子さんの人権訴訟(控訴審)



ヘルメット姿で敷地内に入ることを禁ずと書いてあるが、工事関係者は入れないのかな

もとれるが、オイラには冷たい表現としかとれなかった。事務的な事が時間で分かる。15時34分に始まり、15時44分に終わった。たったの10分なの？歴史的な裁判なの？

裁判に縁があまり無かったオイラは、またしても肩すかしを食らった格好となってしまう。日本の「法」には、「憲法」から始まり、「条例」まで順位があるのは土木一級の試験に出るので、充分に知ってたが、「違憲」を唱えるこの裁判は精神病患者が抱える「入院」の余りにも酷い状況を見て、多

くの問題があり過ぎる事例だ。

何故、病者を中心に多くの人が気がつかないのが、とても不思議な感情を得た。ほっとのホーム・ページには、多くのアクセス数があるが、見られている方は、見るだけでは無く、サポートをして頂きたいと思う。この裁判に必要なのは、愛のあるサポートだと思つう。

最後に橋本容子さんが書かれた文章で、この裁判はある種の「賭け」であるという表現があった。確かに、「大博打」だ。違憲かどうかを、世に問う事だから、病院側・国側と多くの「責任」能力を問われる事になり、その結果として各地で不当の行われている「病院」という「牢獄」での悪行が続々と暴露される事となる。この裁判は日本史にも残る偉業とも言われる事例になるかも知れない。

先日、八王子保健所主催で行われた「心の健康フェスティバル」でも、「ほっとの活動報告」として大々的に橋本裁判を取り上げた。プレゼンが終

精神医療はこうあってほしい

・私の体験(強制医療+電パチの恐ろしさ)

私は十九才で初めて精神科に入院した。今の年令はあと2カ月で満六九才となる。

最初は「神経症」という病名であった。が、十年後にはいつのまにか「精神分裂病」、今で言う「統合失調症」という病名に変わっていた。最初入院し

わつり、サンサン「ゴト

した状況で橋本容子さん裁判に関しての資料を、時間の許す限り、多くの人々に手渡した。その中の一人の男性に呼び止められて、約30分間ご説明申し上げた。多くの人達に資料を手渡したが、その実何名の人が真剣にこの裁判の行方を追っかけるだろうか？オイラはその男性一人であっても、この日のプレゼンは大成功だったと思つう。

何せ、彼は真剣に聞いていた。実は彼も入院歴があり、不当な行為をされた事が分かった。「声なき声を、声にする事。」これが、入院を含めて現状の精神医療の抱えている大きな問題点を指摘する行為だ。

村井 博

てから二〇〇八年頃まで苦しみの連続であった。その中でもとても苦しい思いをしたのは一九六五年から七三年にかけて入院した時であった。

・精神医療という名の下で強制治療!! 「金儲け」が成り立つ仕組み



松江城の石垣を眺めながら午後の裁判に臨みます

【特集】

橋本容子さんの人権訴訟(控訴審)



羽田空港に向かう電車の中でもお勉強の共同代表

良心的な病院ではなく、病院を大きくするのが目的な様な病院で、ケースワーカーもいなく、患者をしばるといふか、治すのではなく病院に留めておくという考えの強い病院であった。

退院して家にいる時、父親が言った一言三言がわたしにとって精神的にとても苦しくショックで、その後、大きな苦悩となっていた。

そのせいで治るべきこの病も治らず退院してすぐに就職するが、二〜三ヶ月もすると何回となく父親とケンカになり、すぐに病院にパトカーで連れていかれる。そして次の朝電気ショック

ク療法である。二四才位から三十一才位の事である。とてもこわい治療をさせられていた。私当事者として電気ショック治療を受けていたとは言いたくはない。

電気ショックをかけられていた方があたっていている様に考える。とてもこわい治療法で、かける医者はず平気だろうが、かけられる方はとても苦しい。電気治療をすると言われると、屈ても立ってもいられなくなり、止めて欲しいと医者にすがりたい気持ちと、神様に医者の意志が変わります様にと祈る気持ちだった。

・とくにこんな恐ろしい怖い治療法は世界中からなくして欲しい。

お医者さん達は分かっているのだろうか？
電気ショックをかけられる当事者の心境が。

とにかくこんな恐ろしい怖い治療法は世界中からなくして欲しい。近頃は電気ショック療法に効き目があると精神の本とか当事者の本などによく掲載されているが、これは懲らしめの為にかけることが多いのではないのか。

例えば病院を脱走したとか、外出してアルコールを持ち込み(アルコール中毒ではない人が)病棟内で飲んでいたとかである。次に上げるエピソードは実際私が体験した話である。話の筋書きは、ある裕福な家の五十才以上の患者が、消灯になっても起きていてガサゴソガサゴソ自分の物をいじったり、ベッドから離れパタパタと音をたて廊下を行ったり来たりして、中々寝ない。

それで隣のベッドに寝ていた患者さんが眠れず我慢出来なくなり、看護室に言いに行った。その次の

日、言いに行った患者さんが電気をかけられた。その患者さんは地方から一寸東京に出てきて公園でブラブラしていたのを警察官に職務質問を受け、そのまま精神病院に連れてこられて何年も退院できていない人であった。

・電気ショック療法の恐ろしさ

電気ショック療法は口の療法とか電撃療法といつて、昔は口にタオルとかゴムの厚さ五ミリ位の、きれはし、を口にかませて目をつぶらせ生でかけていたが、その後睡眠剤の入った二〇〇〇のすぐとい注射器で眠らせてかけるようになった。

近頃のケイレンなしの電気ショック療法はわからないが、「目をつぶって」と医者が言い、目をつぶるとあとは判らなくなってしまうのか。気がつくときの大部屋に毛布をかけられ眠っている。頭が、ガンガンガン。痛く、もう他の人の食事は終わっていて、苦しさの中を起きて看護室に御飯をもらいに行きヨタヨタしながら膳を持ってきて冷えた御飯を食べる、とても惨めな思いをしたのを憶えている。

左右のこめかみに電極を当てる。そしてスイッチ



新宿駅での待ち合せに疲れてしまったクロちゃん

【特集】

橋本容子さんの人権訴訟(控訴審)



広島高裁松江支部の看板は汚れ果てて、読みづらかったです

を入れ五秒間位あてると目を、くるくるくるくるーとまわしてそして口から泡を、びくびくびくびく、と吹きそのまま気絶してしまふ。あとは大部屋へ運び毛布をかけておくと何時間後にか、目を覚ますという具合である。

妄想等が消えると思われたこともあるが、妄想があつても十日位すると徐々に記憶が蘇ってきて又、元に戻るように思う。実際私自身かけられて実感している。この病気になって50年の内、一度だけ、ある躁の患者さんが入院してきて鉄格子に登って外に向かって叫んでいたが、あるとき電気

をかけられたらおとなしくなり、すぐに退院された。その時、躁の人には凄く効き目があるのであろうと思つた。電気ショック療法は、私はとても恐ろしく怖い療法だと思つた。5秒位だから生き返るが、20秒であるとか間違えて長くかけると死んでしまふ。早く言えば死刑囚が死刑のとき座る電気椅子と同じである。只、時間の長い短いによつて生きるか死ぬかになる空恐ろしい(そらおそろしい)療法である。

こんな残酷な療法は一日も早く中止して欲しい。その代わりに優しく思いやり深い治療法を考へて欲しい。認知行動療法とかはとても良い治療法だと思つた。

他、心理療法(精神療法)等も良いのではないか。この中にはSST(社会生活技能訓練)も入っている。SSTで有名な先生は高森信子先生である。高森先生著「あなたの力が家族を変える」ハートビブきつれ川制作を是非読まれて欲しい。当事者の皆様に回復の一助とされるには最高の参考書と言へる。保護者の方々にも特に薦めたい。

・私の願い

とにかく電気ショック療法は怖い治療法である。こんな当事者の人々が嫌がる、恐怖となる治療は止めて欲しい。もっと気分の良い治し方は多くあると思う。電気は一切かけない病院も今は多くなってきている。患者さんが安心して怖い思いをせずゆつたりと医師の治療に関われる施設が増えることを期待したい。

精神科は怖い病院だというイメージを一新してほしい。

しい。どんな心の病の人々にも愛情を持ち、優しく、おもいよりの心、慈しみの心で相

手の心の底の痛みがわかるお医者さん、誠実で真直で信頼される勤務者として、利益や自分の実績を第一とするのではなく、患者さんの病気を治して差し上げるのを第一として毎日のお仕事をされて頂きたい。この様な心がけて仕事される信頼であるとか、実績であるとかはおのずからついてくるのではないのでしょうか。

それにはお医者さんもそれなりに医師としての勉強もしなくてはよい医療には結びつかないと思ひますが、そしてその暁には先生も幸福(しあわせ)となられ患者さんも幸福(しあわせ)となる、つまり治療の方向へと一歩一歩前進していけることを考えます。

おもいよりの心、やさしい心、慈悲の心、親切な心、相手の心の底の痛みがわかる人として、誠実で、真直で、真面目で信頼される医師として寛容の心を持ち、実行力を持ち合わせた医師その他の勤務者に成ってもらえる様お願いしたいと思ひます。

先生をはじめ、勤務者の皆様、そして当事者の皆様の幸福(しあわせ)のために。心を診(み)るお仕事をされているお医者さんは、人間的にも、自分を磨くことをおろそかにしてはならないと思ひま



人権裁判では頼もしい大田原弁護士

【特集】

橋本容子さんの人権訴訟(控訴審)



みむちゃんも頑張ったよ

す。その他、勤務者の皆様も同様です。又私達も人間である以上忘れてはならないことですね。

平成22年10月23日：
記

村井 博

私の医療保護入院

二のアイスを4個も食べるという、66kgのデブでした。エステディションに「三六万円で46kgまで痩せましょう」と言われました。

デイケアの友人のMさんは、「朝はパイナップル、昼はしじみのみそ汁と目玉焼きと米1合、夕食は豆腐やキムチがいいよ」と教えてくれました。Mさんは、そ

秋晴れの

ない日がつづくこの頃と

雨の中又バイク走らす

入院直前の私は、エステに通い、1日にコンビ

みむちゃん

れで20kgのダイエットに成功したそうです。

私は、主治医の先生に、「寒天とこんにやくを食べなさい」と言われ、コーヒ―寒天の砂糖なし、紅茶寒の砂糖なしを、毎日いっぱい食べました。一七八円だったと思います。

それでもドンドン太り、自分でも糖尿病になるのではと、医療保護入院になりました。

病院の考えた献立で、スルスル痩せました。四肢拘束・オムツ装着されていたのですが、ごはんを作らないで食べられて、薬を飲んで好きなだけ寝ていられるので、それほどくらは感じませんでした。

トイレ、歯磨き、お風呂、耳掃除の綿棒、鼻くそのティッシュ、爪切り、の皮膚病に薬を塗る他は、寝ていました。

少しすると、体重を減らしたくて、糖

精神病院＝四肢拘束・オムツ装着が当り前の世界!!!
精神医療(医師も含めた従事者)の人権意識のなさ!!!

尿病食の一二〇〇kcalの献立を頼みました。糖尿病ではありませんでした。

おながすいてTさんにたかると、かっぱえび煎を3コくれたので、私も給食のエクシアをあげました。

私の四肢拘束・オムツ装着のされ方はお腹にベルトのように巻いてあるもので、ヒップがするりと抜けてしまい、抜け出すのがおもしろくなってしまう。見つかると、看護婦さんがきつく締めてしまい、いい子にしていると、つまり抜け出せないと、ベルトの穴が1つ分、ゆるくおこってくれました。尤も、私より看護婦さんの方がよっぽどデブでした。

退院したのは冬で、家に帰ってから、お風呂が寒くて、ストープがすぐに消えてしまう状態でした。でもすべ春になりました。52kgまでやせたのです。



裁判所の近くにある松江城の石垣

プログラム紹介

ツチノコ

僕が主催しているプログラム

聞こう会

参加者で輪を作って、順番に所感を述べて貰うプログラムです。ルールは一人が話している間は皆が聞き役に徹することです。昔「ほっと」にいたボランティアさんが行っていたプログラムだったのですが、突然辞めてしまい、急ぎよ、僕が引き継ぐ事にしました。

皆が楽しい、為になると言ってくれる、大変人気のあるプログラムです。
僕はなんと言っ手法なのか長い間、疑問だったのですが、ある職員さんがそれはピアカウンセリンクの技法だと思つと、教えてくれました。



「聞こう会」、全体ミーティングなど話合ったり、訴えだりのプログラムが盛りだくさん

PC教室

インプレス社の「レキる WORD2000」「レキる EXEL2010」を使うパソコン教室を行っています。若い頃は狂った様にパソコンをいじっていた時期があるので、なんとか皆に教えることが出来ています。今は年賀状作成にこそしんでいます。

映画鑑賞会



DVD上映会は100インチ大型スクリーンで鑑賞します

「ほっと」にある大型スクリーンと映写機を使い、なおかつブルーレイプレーヤーで映画を楽しむ会です。
一人で観るより楽しいし、なおかつ誰かが面白いと薦める映画はやはり誰が観てもおもしろい。

僕が参加しているプログラム

ほっとスペースのボブ・ティラン

僕はパソコン教室

何回か出席して、堀部さんや筒井さんにインターネットのやり方やワード、エクセルを教えてもらいましたが、とても分かり易くて感謝しています。
前の作業所に居た時には、別の場所でプロの人たちに教えてもらったのですが、それも中途



秋レク第二弾は高尾山登山でした

半端な形で終わってしまったので、ここでほっとで再び教えてもらえて、ますます感謝しています。メンバーだけで教えられるのは、凄いいと思います。就職活動の面接で出席できない時もありますが、これからも出たいと思います。

また、聞こう会についてですが、1分間とか2分30秒の間で、自分の話をまとめて話すという事は、一人暮らしの僕にとりましては、話を聞いていただけけるいい機会でありまして、また面接の練習であると思います。

誕生会

誕生会についてであります。少ない金額で手作りのケーキやお店のシュークリームを食べられて、とてもありがたくおもっています。そして、この時に、ギター演奏の予定が入っていると練習の目標になって、僕にとつてのプラスであります。



誕生会はケーキや飲み物が盛りだくさん

団地清掃

ですが、体を動かす仕事に慣れることにプラスであり、団地内の清掃や園の清掃になれる事でもありました。

おかげで一般就労もしてしまいました。それは杉山の除草でありまして、たった一週間で終わってしまいました。団地清掃は僕にとっては、夏の暑い時期には楽ですが、春や秋や冬の寒い時期には大変かなと思います。

食事会については、3000円の値段で、あのよう

どうぞよろしくおねがいします

中島 千枝子

9月下旬から、職員として皆さんの仲間に入れていただきました、なかしまです。会員の皆さんの名前と声と顔をようやく覚えましたが、まだ時々間違えてしまいます。ごめんなさい。

生まれたときから視覚障害者(弱視)で、高校まで盲学校にいました。小学校の就学前診断で、「この子は普通の学校に入ったらいじめられるから、盲学校へ入れなさい。」と、入る前に、近所に遊び友達もいたのに、学校側から差別されたのです。後で知ったのですが、一度も盲学校にすら行けなかった仲間もいました。家族に戸籍も出してもらえなかった障害者、同じ水のみ場を使うなど、いじめられた仲間もいました。

そうして当時40年前のこと、進路は、あんま・マッサージ・指圧師、鍼灸師か、邦楽でお琴の先生になるとか、施設に入るなど、本当に限られた中、大学に進みたい、健常者と学び、触れたいと点字で受験を目指す先輩がいっぱいいました。自分たちの可能性も試したい、後輩に道を開きたいと、池袋駅などに署名簿を持って立ちました。大学の門戸を視覚障害者に開放せよと。

私はその後保育士の資格で仕事に就きましたが、それから30数年間ずっと考えてきたことがあります。それは、障害者にとって「はたらく」とはどういうことかということです。

私が最初に働いた生活保護法の救護施設では、仲良しになった施設利用者から、「りょうぼさんは、じゆうでいいね」といわれ、自分がエリート障害者として、彼女たちにとって規則を押し付ける立場にいることを指摘されました。知的障害児の施設では、子供の問題行動ばかりをとりあげるケース会議、健常者に近づける訓練ばかりを強制し、行過ぎて骨折しても、できるようになれば、親は感謝するとまでいう方針に、私は激突しました。

家庭をもち、子供がもうすぐ3歳というとき、再就職。活字を点字に訳する仕事に就き、20年余、視力も下がってきて退職しました。かなり無理をしていると感じたのです。

先ほどの障害者が働くということはどういうことかという答えを、私はぼっとスペース八王子というところで見つけました。自主運営をし、自分たちで考え、学び、長期入院や不当逮捕された仲間を解放しようとする、けっして簡単ではないが、地道にやっつけていこうという場が、答えを教えてくださいました。さまざまな差別がある現代社会で、賃労働に使い捨てるように扱われ、誇りを奪われるのではなく、障害者が自分自身と、仲間のために働こう、すなわち障害者解放運動こそが、障害者にとっての「はたらく」だとおもいました。

会員の皆さん、読者の皆さん、全国のあらゆる差別とたたかっている皆さん! いっしょに力を合わせてほっとを育てていきましょう。

私は、まだまだわからないことがいっぱいですので、戸惑うことも多いと思いますが、どうか教えてください。よろしくおねがいします。

なポリュームの物を食べさせていただいて、村里先生およびその他の方には感謝しています。また、調理を手伝う事によって自分の料理の腕も上がると思っています。疲れているときには大変ですが、有り難いプログラムです。
全体ミーティングについては、月曜日に毎週あって大変ですが、メンバー皆の意見を聞くという姿勢が見られていいと思います。忙しい時は、出席できない事もあります。

最後に、**エレクトーン教室**についてであります。無料であれだけ教えてくれる事には感謝しています。個人的には、僕はギターが得意ですが、エレクトーンはからきしダメで、毎時間同じ曲を弾いて
歴史作家の司馬遼太郎は太平洋戦争中、西暦一九四五年に北関東の戦車部隊にいたそうだ。戦

軍隊とは、国家とは

シベリア健次

争部隊に上京命令がでた。司馬遼太郎は、連隊長に質問した。「上京するとき東京から疎開してきた人と出会ったらどうするか?」と。連隊長は答えた。「轢き殺せ!」
この時司馬はつくづく思った。そうだ。「軍隊は国家を守るためにあって人民を守らない」と。ここで、司馬は国家とは何かと言っていない。僕は国家とはこの場合、支配階級の利益あるいは身勝手の事だと思ふ。

日々雑感



某学習会のチューターの三浦です。まずは、学習会のチューターを始めたことにより、まず興味のなかったこと、知らないことが「自分のもの」となって身につきました。すなわち「知的財産」が少しでも大きくなったことです。

今回の学習会でも「自分には関係ない」「興味ないからつまらない」という残念な感想が見受けられました。チューターとして説明不足な面があるのかと思ひ、大変申し訳ないことをしてしまつたと思う反面、今回の学習会の内容は：実は「いつあなたに起きてもおかしくない」重大な事項なのです。今回の「医療保護入院」。普段安定した症状の精神病者のみなさんでも、突然のストレス、環境の変化、疲労、薬の事故、ほか：でいつ症状が悪化して、入院するかもしれません。そんな時に、自分で入院形態、その他入院に関する知識や自分なりの考えがあれば、お医者さんのいいなりにならず、自分の権利を守つた入院ができるのです。これを学

「学びつよ」はまず自分をまもるつよ、そつて…。

三浦梨奈子

習会として、仲間と共有すれば、仲間意識が出来、仲間がいざというときには、仲間を助けられるということが出来るのです！

甲府城

シバリア健次

人権のほかにも、自立支援制度、社会、自然、生活など…「ほっと」でできる学習会はいっぱいあるのではないのでしょうか？今回のチューターを続けていきますので、「一緒に」「他人の問題」ではなく「わたしたちの問題」として引き続き学び、浸透していければいいとおもいます。



ふらつと甲府駅で降りた。食事を済ませて中を行くと城があつて門が開いていたので中へはいった。一番上の高台に登つた。地元の人が階段に座つていた。僕は彼に声をかけた。「この城の石垣

はとても太平洋戦争後にクレーンで吊り上げて造るのは無理だ。やはり江戸時代に百姓を動員して造つたんだろう。」その地元の人は言った。「いや、豊臣秀吉が作つたのだ。」僕は驚いた。この城の石垣はとても一年や二年で完成できるわけがない。僕は思った。「秀吉が小田原城攻めをする時、小田原城の前に一夜で城を作つたという有名な話がある。しかしてこれは単なる伝説だ。事実は周到な準備があつた。その一つが甲府城だ。」

心地良い美術館内で居眠り

間宮 久子

富弘美術館の見学を中心に深谷を歩く事でした。富弘美術館はバリアフリーで、私は車いすで見

最初は一生懸命見ていましたが、何せ暖房が暑くて途中から寝込んでしまいました。以前から彼の絵と文章は知っていましたが、生で見るとさすが、ちがうな〜と思ひました。最初は熱心に見ていましたが、途中から暖房がとて暑く、車いすの上で寝てしまいました。お恥ずかしい話で

今年の秋しり第一弾 —富弘美術館 / 渡良瀬深谷散策



富弘美術館正面玄関前で集合写真

わたらせ深谷鉄道は、この

す。
わたらせ深谷鉄道にも乗りました。これは紅葉がとてもしきれいで良かったです。お昼はそば定食で、ゆで上げのおそばと、お豆腐、天ぷら、等々、とてもおいしかったです。
食後は散策で、わたらせ深谷を歩くコースです。私は歩かないで色々そら辺を、うろろろしていました。歩き組

星野富弘さん。

【秋しりレポート】

さくら桃

は疲れた人、大したことなかった、人色々でした。
車の駐車場には、バイオトイレという、現代風にも聞こえるトイレがありました。要するに藁が敷いてあって、人が入るとかきませる、無農薬の農法のためのものらしいです。とてもくさくてたまりませんでした。
帰りは皆さんぐったりで、バスの中で寝る人が多かったです。何より事故もなく、無事に終わったこと、大根田さんが初めての2日間の外泊が無事に終わったことは大変に喜ばしい事でした。

日、ほかほか陽気で思わず眠ってしまい、折角の壮大な深谷や大きな岩、紅葉が見られなくて残念。

栄養バランスの良いそば膳を召し上がり、メンパー元氣回復した後「富弘美術館」。中学教諭時代に、事故により手足の自由を奪われたものの、その後、自分の口で詩や絵を描くようになる。今は温和な美年男性で美術館、詩画、エッセイの制作などで活躍中。



渡良瀬深谷に架かるきれいな橋のたもとで集合写真

いやー、いいんですよ。障がい者が描いたんだって?そんなちっぽけなものではありません。

富弘さんの「描きたい、何があっても描く」という力があたしたちには強いオーラとなって絵から出てくるんです。かれの大きな痛み、失った財産から、他人にはやさしさ、時にはきびしさを教えてくれる、柔和なようで、芯の通った強い詩画です。「生きろー」とやさしく敵しいメッセージが聞こえてきます。最近、自分の故郷を描いた作品も増え、暖かい味がりてなりません。

あたしは「富弘美術館」に3回行ききました。1回は両親に連れられ、2回目は自分で、3回目は今回です。

新しく始めよう、自分を奮い立たせよう、初心にもどろう、といったときに訪れます。

リピーターしてます。

公務員復職をあきらめました。

三浦 利奈子

タイトルは悪いですが(汗)、これで長く悩んでいたのがスッキリしました。

この不況にして辞職とは、父に勘当されました。やはり「世間体」というのがついて回るものです。



渡良瀬鉄道の車両の前でツーショット。退院促進のための外泊訓練も兼ねた秋しり参加の大根田さん

今は恩方のアパートに住んでいます。今後は大学進学(通信制)して、PSW(精神保健福祉士)をめざし、さまざまな障がい悩んでいる人のお世話になる人になりたいです。

いままで公務員の綱につながれていて、将来働き続けるがどうか悩んでいました。事務室のメンバーもあたたかくありませんでした。みんな自分のことで精いっぱいになってしまっているのです。職場のコミュニケーションがあまりなっていません。孤立していました。ときどき、周囲が仕事の話をされると、自分がわからない話なので、輪に入れず孤立して、「いじめられているのでは」とフラッシュバックに陥りました。またミスが多くそれを気にしていたら、ますますミスが増え、職場に迷惑をかけてし

【連載】随筆・育てられなかったあたし。。。(2)

さくら桃

無慈悲な主治医の告知

流産休暇中、ダンナと一緒にかかりつけの精神科クリニックへ。

ちよーと四〇代後半の男性の主治医に、あたしの流産の報告をした。。。あなたは精神的に幼すぎて、不安定すぎて、子供は産んでも育てられないね。と告知された。

そついう精神科からの告知方法はあるのか？
精神科ドクターから女性の権利を勝手に奪っているのか？

告知された24歳のあたしはわからなかったけど。今、再婚したけど…それはいくら「精神病者」さ

まったため、いったん7月から復職したものの、9月から再び休み、退職を決意しました。

勤続17年の公務員を棄て、ほっとに身をうずめることにしました。障がい者その他みな差別のないほっと、いろいろ話し合えるほっと、とにかく楽しいほっと作りに身を粉にするようやっていきたいとおもいます。もちろん、病気の再発も気をつけながら。

今まで、あまり興味のなかった公務員の仕事にこだわり、病気になるより、自分のやりたいことで生き生きたいのが今の心境です。これからは体をいたわりながら、ショートステップでやっていこうと思います。

えも、産む産まないは女性自身の選択だと思う。自分で選ばないといけない権利である。今のあたしの場合は就労することが精一杯で産むことをやめているだけだ。

そして、ちよーとダンナがいたということでも…主治医が何か書いていた。

吉見裕一 殿

「意見書」

婚約者・愛理の精神や身体とも不安定であるため、結婚は慎重にお願いします。

以上

ダンナあてに「結婚延期・中止」の意見書を書いた。しかし、ダンナが「早く帰ろう」とあたしを連れ、意見書を買わずにクリニックを出た。

休暇が終わった日。

ダンナの実家の市役所から封書が来た。ダンナに訊く。

「もつ婚姻届入れるんだ、愛も戸籍謄本とったのか？」と。

・・・まだ取ってない。

籍入れたけれど、体調が良くない。

「じゃーインターネットで取ってあげるよ、免許証貸してみい」

数日後、両方の戸籍謄本がそろった土曜日、私は市役所に行って入籍した。

ちなみに結婚式は式場は取ってある。

結婚しても不安は募るばかり

半年後。

しかし、普通の生活に戻っても不安もどる。

兼業主婦で家事の要領が悪く、定時に帰っても家事が終わるのが12時過ぎ。

ダンナから「こはんが不味い」と毎日言われる。でも残業しなくてはならないときもあって…。

土曜日・日曜日こそ家事をやらなくてはならないのに、ほとんどバタンQ。

ダンナはひとり秋葉原に行って不在。

・・・うつになってく、とんとんと。

クリニックに行くことに薬の量が増えていく。

うつの薬のせいでは、職場でも眠くなる。
事務長に言われて急ぎょクリニックにかかり、「病
気休暇3カ月」の診断書を買ひ、休み始めた。
これで専業主婦になれる。

不安のために休暇を取る

猛暑の季節。

風間はエアコンを低めの温度にかけながら、布団
にぐるまいて寝る。

でも、お腹が減る。

とりあえず冷蔵庫。

で、まずは牛乳!

と、その奥を見ると…きのう、ダンナが会社のお土
産でもらってきたチョコレートケーキ!!

今日ダンナが帰ってから一緒に食べるつもりだけ

ど、今、全部食べちゃおう(@_@) (@_@) (@_@)

……あたしはケーキがだいすき☆ケーキひ

とりじめたい(≡∩≡)

でも、食べ終わってから。

お皿 コップ あらうのがめんどうくさい。

そのまま、また寝る。

=====

で、再び起きたときには、ダンナが帰ってきてい
た。

で、無理やり起こされる。

「俺のケーキは?」

あはははは捨てちゃった、虫がついちゃって

「嘘つけーちゃんとお皿に2人分食べた後があるん
だぞー」

「で、どうして愛、全部食べたのか?」

「食べたくて食べたくて我慢できなかったもーん」
「……このころ愛、食べ過ぎじゃないか? 太った
ぞー……」

「だって病欠だから暇だもん」

「少しは河原でウォーキングしたら?」

「ヤダ。こんな暑いのに体動かしたくない(汗汗)
く、汗」

そして、ダンナは黙ってさっさと替替えてシャワー

に入り、あたしは眠剤を飲んで布団に寝る。

でも、30分後。

パソコンのディスプレイの光が漏れて眠れない。

起きてみると、ダンナが深夜12時過ぎまでビール

を飲みながらネットゲームをやっている。

「あたし……まぶしくて眠れない」

「土曜日に二つり行って、ブランド買おう。」

=====

秋になり、少しは調子が良くなったかな?

寝っぱなしの夏は終わった感じ。

=====

しかし。

まだ仕事に行きたくない、というのかめんどうくさ

い。

10月に入り、病気休暇を3カ月延期した。

病院から帰ってから、おしゃれなサヤカ先輩から

ハワイの絵葉書が来て、嬉しかった。

……サヤカ先輩とは仲がいい。

結婚した時期も奇しくもあたしと同じ日(笑)

美味しいところを知っているから、良くあたしを
食事に誘う。

そして、ある秋の夜。

好きなプロ野球のシーズンが終わってから、見る

テレビ番組がなくなった。

小さい時から親に芸能人番組を見せてくれなかつ

たため、芸能人には大変疎くて興味が無い。

退屈な長い夜は続く。

でも、料理はキライ。

今から煮込み料理とか仕込んでおきたいと思っ

て。

久しぶりにあたしのノートを出す。

あたしがパソコンを始めたころ、4年前に買った

ものである。

このころ眠くてネットサーフィンとか二つティ

サーフしていなかったけど。

当時二つティサーフには「フォーラム」というオ

ンラインサークルがあった。

あたしは精神保健フォーラムと吹奏楽フォーラム

があった。

吹奏楽フォーラムを開けてみたら…近くに演奏者

公募演奏会があるとのこと。

久しぶりにふきたくなっちゃった。

でも…あたしあんまりうまくないからな……

と、いうことで少し寝てしまったけど。

起きてまだまだダンナが帰ってこない。

淋しさが急に起こってくる。

淋しい、

=====

淋しい、

まだ帰ってこないの？

夜は10時半。

心配になる。

いつもはこんな時間まで仕事つづけ、帰るのは12時。

でもこんな時に限って心配。

別に悪い事がないはずだけど。

思わずダンナの携帯してみた。

「うるせーなー仕事中だよ」

「めんやろ。」

またかける。

「うるせーんだよ。何かあったのか？」

またかける。

「うるせーんだよ。何かあったのか？」

またかける。

「うるせーんだよ。何かあったのか？」

またかける。

「うるせーんだよ。何かあったのか？」

またかける。

「うるせーんだよ。何かあったのか？」

またかける。

「うるせーんだよ。何かあったのか？」

またかける。

「うるせーんだよ。何かあったのか？」

最後は

「早く帰ってー！あたし具合悪いの。病院運んでー！」

「早く帰ってー！あたし具合悪いの。病院運んでー！」

「早く帰ってー！あたし具合悪いの。病院運んでー！」

「早く帰ってー！あたし具合悪いの。病院運んでー！」

淋しいための過服

今後の予定

- | | |
|----------|---------|
| 12月3日 | 望年会 |
| 12月28日 | 餅つき大会 |
| 2011年 | |
| 1月4日 | 新年初開所 |
| 1月11日 | 役員選挙公示日 |
| 1月17日 | 立会演説会 |
| 1月18～21日 | 投票日 |
| 1月21日 | 開票 |

暇

淋しい

具合悪い

早く帰って

そしていよいよ自分の気持ちのエスカレートして

しまった。

ダンナの焼酎。

鎮痛剤50錠1箱。

眠剤2週間分。

台所で一気飲みして、そのまま寝てしまった。

別に死にたくない。

病院に運んで欲しかった。

こんな淋しいおうちより、きれいな病院のベッド

ですと寝ていたい。

ナスさんに甘えたい。(つづく)

編集後記

★とうとう師走になりました。今年もいろいろ大変な事がありました。が、「差別と闘う」「ほっとスペース八王子」の路線が定着する年でもありました(安)★新年号特集号が来月に出せるかな(ほ)★トロッコ電車の中で福島から観光に来た若いお兄さんに席を譲ってもらって助かりました(ま)★大根田さんの退院促進活動に年内退院の目処がついて良かった(久)★富弘美術館にもう一度行きたいな(な)★大根田さんを囲んで、お節料理をみんなで食べたいな(ち)★十一月上旬は急傾斜の山で除草作業のバイトをやった。大変な作業だった(ふ)★みんなで「ほっとスペース八王子」の紹介や橋本容子さんの裁判についてのプレゼンをやった。心の健康フェスティバルは楽しかった(こ)